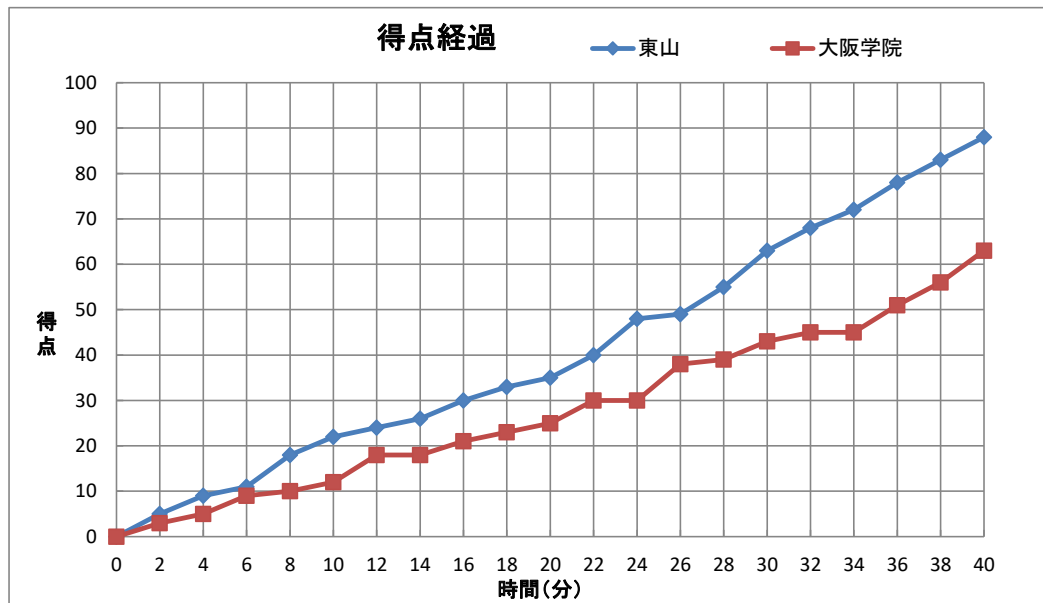




第70回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		2023/6/25		11:10 開始													
準決勝		ジェイテクトアリーナ奈良		A													
◎ 東山 (京都)	88	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>28</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>20</td></tr> </table>	22	1st	12	13	2nd	13	28	3rd	18	25	4th	20	63	大阪学院 (大阪)	
22	1st	12															
13	2nd	13															
28	3rd	18															
25	4th	20															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	佐藤 友	21	0	9	3	1	* 4	槌田 要太	6	1	1	1	2				
* 5	瀬川 琉久	15	1	5	2	2	* 5	道澤 晴	9	0	4	1	4				
6	稲垣 叶大	-	-	-	-	-	* 6	太田 凜	15	3	2	2	2				
7	十川 虎之介	5	0	2	1	0	7	中島 暖登	14	0	5	4	2				
8	小泉 広翔	4	0	2	0	3	8	高口 絢太	4	0	1	2	2				
9	竹内 龍ノ介	2	0	1	0	0	* 9	池田 頼鷹	5	0	2	1	3				
10	南川 陸斗	0	0	0	0	0	10	熊谷 蓮太郎	2	0	1	0	0				
11	伊計 叶貴	0	0	0	0	2	11	西村 隆成	6	2	0	0	1				
* 12	飯田 流星	4	0	2	0	2	12	松岡 弘樹	2	0	1	0	0				
* 13	佐藤 凪	11	1	2	4	1	13	末継 惇也	0	0	0	0	0				
14	瀧川 隼次	-	-	-	-	-	14	泉 勇雅	0	0	0	0	0				
15	ナトクリ オンケン ベナミネ	2	0	1	0	2	15	水島 遊瑳	-	-	-	-	-				
16	小野寺 星夢	-	-	-	-	-	* 16	舟谷 陽人	0	0	0	0	4				
17	松島 慎弥	3	1	0	0	0	17	宇都宮 隆汰	-	-	-	-	-				
* 18	カンダ マピカ サロモン	21	0	9	3	2	18	大澤 一斗	-	-	-	-	-				
コーチ	大澤 徹也						コーチ	高橋 渉									
Aコーチ	山崎 健太郎						Aコーチ	梁川 禎浩									
合計		88	3	33	13	15	合計		63	6	17	11	20				
クルーチーフ: 渡邊 浩二 1stアンパイア: 栗山 一平 2ndアンパイア: 北山 拓海																	



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	13:05	17:56	27:58	:	:	:	:

〔戦評〕
 東山④⑤⑫⑬⑱、大阪学院④⑤⑥⑨⑱。
 第1ピリオド、両チームマンツーマンでスタート。東山は、⑱サロモンの高さを活かしながら④佐藤や⑤瀬川を中心に軽快に得点を重ねる。学院も⑥太田の3Pから反撃を始めるが、東山のディフェンスプレッシャーから徐々に点差が離れ、22対12で第1ピリオド終了。
 第2ピリオド、学院は開始早々に⑥太田の3Pや⑤道澤のミドルシュートの得点などで流れを引き戻しにかかる。東山も、ディフェンスを2-3ゾーンに切り替えたり、要所でスティールからファストブレイクを繰り出したりと変幻自在のゲーム運びで主導権は譲らない。どちらも、リズムを掴みきれないまま、35対25東山リードで前半終了。
 第3ピリオド、先に勢いに乗ったのは東山。⑱サロモンの積極的なディフェンスからのダンクシュートに⑫飯田のファストブレイクと連続得点で学院を突き放しにかかる。学院も、厳しいディフェンスに苦むなか⑦中島が果敢に攻め続け、ドライブからのレイアップやバスケットカウントでなんとか食らいつく。しかし、東山⑤瀬川の巧みなプレーに翻弄され、そこから繰り上げられる高さを活かしたポストプレーに、点差を縮めることができず63対43、東山がリードを広げ第3ピリオド終了。
 第4ピリオド、反撃の糸口を掴みたい学院だが、東山の堅い守りを崩せない。④槌田が意地を見せるも、波に乗りきれない。一方の東山は、⑬佐藤のミドルシュートなど落ち着いたプレーで得点を重ね、試合の大勢が決まる。東山は最後まで選手全員が走りきり、88対63で試合終了。

戦評: 峠 和貴 記録: 生駒高校